

成果目標に関する調書【港湾整備特別会計】

No.	施策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの事後的な評価方法	16年度 予算額(千円)	17年度 予算額(千円)
1	スーパー中核港湾プロジェクトの推進と物流拠点の形成	国際海上コンテナ貨物等輸送コスト低減率【H14比5%減(H19)】 3～5年後を目途にスーパー中核港湾に係る港湾コスト3割減、リードタイム1日以内	高規格なコンテナターミナル等の整備、民間ターミナルオペレーターが整備する荷捌き施設等への無利子貸付、FAL条約(国際海上交通の簡易化に関する条約)の批准に向けた入出港・輸出入手続きの簡素化等を行う	「政策チェックアップ(業績測定)」方式	56,678,734	56,731,890
2	地域経済再生(民需・雇用創出等に資する基盤整備)	国際海上コンテナ貨物等輸送コスト低減率【H14比5%減(H19)】 複合一貫輸送に対応した内買ターミナルから陸上輸送半日往復圏の人口カバー率【75%(H12) 80%(H18)】 フェリー等国内貨物輸送コスト低減率【H14比4%減(H19)】 複合一貫輸送とは、海上輸送と鉄道、トラック輸送を組み合わせ、ドア・ツー・ドアの輸送を完結する輸送方式をいう	バルク貨物等の輸送に対応した多目的国際ターミナル、複合一貫輸送等に対応した内買ターミナルの整備を行う	「政策チェックアップ(業績測定)」方式	82,537,290	77,095,131
3	大規模地震対策の推進	港湾による緊急物資供給可能人口【約1,900万人(H14) 約2,600万人(H19)】	大規模地震の切迫性の高い観測強化地域等において、耐震強化岸壁を備えた港湾を整備する	「政策チェックアップ(業績測定)」方式	6,862,720	6,127,075
4	放置艇対策の推進	港湾におけるプレジャーボートの適正な係留・保管率【45%(H8) 55%(H18)】	ボートパーク等簡易な係留・保管施設の整備とともに、港湾区域内において船舶等の放置等を禁止する区域の指定を推進する	「政策チェックアップ(業績測定)」方式	1,233,000	663,400
5	リサイクルポートプロジェクトの推進	循環資源国内輸送コスト低減率【H14比約1割減(H19)】	リサイクルポート指定18港において重点的に循環資源を扱う岸壁、臨港道路などの整備を行う。また、民間事業者が行う循環資源を取り扱う積替・保管施設などの整備に対する日本政策投資銀行による低利融資を行う	「政策チェックアップ(業績測定)」方式	931,300	1,422,250
6	ひっ迫する廃棄物処理問題に対応した廃棄物海面処分場の確保	可能な限り減量化したうえで海面処分場でも受入が必要な廃棄物の受入【100%(H14) 100%(H15以降毎年)】	廃棄物海面処分場の整備を進めることにより、必要な容量を確保する	「政策チェックアップ(業績測定)」方式	12,290,810	10,306,500
7	海浜・干潟等の保全・再生・創出	失われた湿地や干潟のうち、回復可能な湿地や干潟の中で再生したものの割合【約2割(H14) 約3割(H19)】	港湾整備により発生する良質な浚渫土砂を活用して、海浜や藻場・干潟を保全・再生・創出する	「政策チェックアップ(業績測定)」方式	1,495,800	1,196,500
8	閉鎖性海域における水環境の改善	湾内青潮等発生期間の短縮【H14比約5%減(H19)】	汚泥その他公害の原因となる物質の除去、覆砂による水底の底質改善、環境整備船等による浮遊ゴミ・油の回収を行う	「政策チェックアップ(業績測定)」方式	2,922,300	2,971,900
9	輸出入・港湾関連手続のワンストップサービスの利便性向上への取組み(FAL条約への対応)	港湾EDIシステムの普及率【22.0%(H13) 100%(H17)】	港湾管理者等への説明を通じた港湾EDIの利用拡大、FAL条約(国際海運の簡易化に関する条約)に対応したシステム改良を行う	「政策チェックアップ(業績測定)」方式	293,500	865,500
10	地域の活動を支える海上交通機能の向上とユニバーサルデザイン化の推進	一日あたりの平均の利用者数が5千人以上の旅客施設、その周辺等の主な道路等のバリアフリー化の割合【旅客施設の段差解消：39%(H14) 7割強(H19)、視覚障害者誘導用ブロック：72%(H14) 8割強(H19)】	旅客船ターミナルや係留施設、港湾緑地等のバリアフリー化など、みなとのユニバーサルデザイン化を推進する	「政策チェックアップ(業績測定)」方式	2,878,640	2,826,400